

東京労災病院 年報 2024



Japan Organization of Occupational Health and Safety
TOKYO ROSAI HOSPITAL
MEDICAL INFORMATION
2024



理 念

命の輝きを共有できる病院

基 本 方 針

1. 質の高い急性期医療の実現
2. 安全で心温かな医療の提供
3. 地域の発展と災害医療への貢献
4. 勤労者医療の推進と普及
5. 職員の福利・厚生の向上
6. 健全な経営基盤の確立



東京労災病院年報2024

発刊によせて

～地域に愛され、地域に開かれた病院へ～

東京労災病院 院長 森 田 明 夫

日頃より大変お世話になっております。昨年に引き続き「東京労災病院年報2024」をお届けさせていただきます。当院の活動状況をご覧いただければ幸いでございます。さて、私は2024年4月に赴任させていただきましたが、2024年度は他の医療機関と同様に、経営的には大変苦しい1年でありました。特に大きな課題は旧整形外科医局におりました医師による不祥事にはじまつた、整形外科の入院診療停止でありました。この一件は大きく当院の信用と運営に支障をきたし、本当に地域の住民の方々はじめ、地域の医療機関、救急対応にご迷惑をおかけしてしまいました。幸い東京大学及び昭和医科大学より常勤の整形外科医チームを送っていただき、2025年4月からは7名、10月からは8名体制で、外来はもちろん、入院、救急対応を開始し診療体制の再構築が完成しつつあります。そのほかの診療科、看護職、医療職、事務職のメンバーも病院をより明るく、優しく、親切で、丁寧な医療を実施する施設として地域に認知していただくように努力をしております。私共の役割としては、病院で働く皆さんが、職場に誇りを持って働くような環境を提供すること。地域に信頼される医療を提供できる体制を準備すること。この2つを成し遂げるために、さまざまご意見やアドバイスを受けながら、病院の改革に努めているところです。職場が笑顔に溢れ、対話に満ち、皆が考えや意見を真摯に語りあい、自由な気持ちで過ごすことができ、毎日勤務終了時には、充実した気持ちで、帰宅できること。そういう職員の心の充足が患者さんたちへの貢献や愛情となって現れ、そうなって初めて病院が地域から愛される施設になってゆくと考えています。またそれを支える医療の質の向上と優れた医療技術の維持・導入にも、他の医療機関とも連携しつつ尽力しております。さらに地域の行政、自治体組織、鉄道や企業とも連携して、地域の活性化にも貢献するための企画を進めています。

患者さんも職員も「命の輝きを共有できる病院」として、真に地域に開かれた病院となるため、職員一丸となって、より一層の努力をしてまいります。今後とも何卒ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

目 次

東京労災病院年報2024 発刊によせて

I 各診療科・部門等の業績	1
01 消化器内科	3
02 腎臓代謝内科	5
03 呼吸器内科	7
04 糖尿病・内分泌内科	9
05 総合診療科	10
06 脳神経内科	11
07 循環器科	14
08 精神科	16
09 小児科	16
10 消化器外科	17
11 呼吸器外科	19
12 乳腺外科	20
13 整形外科	21
14 形成外科	23
15 脳神経外科	24
16 皮膚科	28
17 泌尿器科	30
18 産婦人科	31
19 眼科	32
20 耳鼻咽喉科	34
21 リハビリテーション科	35
22 脳神経移植科	37
23 放射線診断科	39
24 放射線治療科	39
25 麻酔科	40
26 救急科	40
27 臨床検査科	41
28 病理診断科	41
29 健康診断部	42
30 薬剤部	43
31 中央検査部	45
32 中央放射線部	46
33 中央リハビリテーション部	47
34 中央臨床工学部	49
35 看護部	50
II 業務統計	53
III 年間行事	65

※2024年1月～12月の当院在職職員の業績を掲載しているため、現時点では在籍していない職員名も掲載しています。

I . 各診療科・部門等の業績

Japan Organization of Occupational Health and Safety
TOKYO ROSAI HOSPITAL
MEDICAL INFORMATION
2024

01 消化器内科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	西中川 秀 太	院長補佐(兼)、入退院支援センター(PFM)長(兼)
	第二部長	大 場 信 之	
	第三部長	乾 山 光 子	
	副 部 長	土 方 一 範	
		折 原 慎 弥	
	医 師	石 井 咲 貴	
		松 坂 翔	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

A Case of Caffeine Intoxication, in which the Theophylline Level Served as an Indicator of the Treatment Course and the Caffeine Level could be Measured

Yoshimine N, Oba N, Hasegawa C, Inoue N, Nagumo H, Arashiyama M, Orihara S, Takahashi S, Inuyama M, Nishinakagawa S

Internal medicine 63 : 2157-2161, 2024

内視鏡的粘膜下層剥離術を施行した早期胃神経内分泌癌の一例

中島一彰、乾山光子、池上 遼、平泉泰翔、折原慎弥、渡辺浩二、高橋伸太郎、荻野 悠、大場信之、塩野さおり、西中川秀太

Progress of Digestive Endoscopy 105 : 52-55, 2024

〔学会発表〕

仮性動脈瘤からの後腹膜血腫により十二指腸狭窄を合併した正中弓状鞘帯症候群の1例

平泉泰翔、西中川秀太、中島一彰、池上 遼、折原慎弥、渡辺浩二、高橋伸太郎、荻野 悠、乾山光子、大場信之
日本消化器病学会 関東支部第378回例会. 2024.2.17. 東京都

7年6か月に亘る長期の化学療法後に難治性気胸を発症した直腸癌多発肺転移の一例

池上 遼、西中川秀太、中島一彰、平泉泰翔、折原慎弥、渡辺浩二、高橋伸太郎、荻野 悠、乾山光子、大場信之
日本消化器病学会 関東支部第379回例会. 2024.4.27. 東京都

内視鏡にて粘膜虚血性変化を確認し得た腹部アンギーナの1例

折原慎弥、乾山光子、中島一彰、池上 遼、平泉泰翔、高橋伸太郎、渡辺浩二、荻野 悠、大場信之、高亀則博、
西中川秀太

第118回日本消化器内視鏡学会 関東支部例会. 2024.6.15-16. 東京都

後腹膜及び皮下に多発膿瘍を形成したEBウイルス陽性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の1剖検例

石井咲貴、西中川秀太、大場信之、荻野 悠、折原慎弥、池上 遼、中島一彰、塩野さおり

日本消化器病学会 関東支部第380回例会. 2024.7.27. 東京都

当院におけるUpside down stomachを呈した食道裂孔ヘルニア症例の臨床的検討

中島一彰、池上 遼、平泉泰翔、折原慎弥、渡辺浩二、高橋伸太郎、荻野 悠、乾山光子、大場信之、西中川秀太
第32回日本消化器関連学会(JDDW 2024)、第108回日本消化器内視鏡学会総会. 2024.10.31. 神戸市

当院におけるアミオダロンによる肝障害患者の臨床的特徴

池上 遼、荻野 悠、中島一彰、平泉泰翔、折原慎弥、渡辺浩二、高橋伸太郎、乾山光子、松田尚久、大場信之、
西中川秀太

第32回日本消化器関連学会(JDDW 2024)、第66回日本消化器病学会大会. 2024.11.1. 神戸市

腸閉塞を契機に診断し得た乳癌小腸転移の一例

池上 遼、荻野 悠、石井咲貴、中島一彰、折原慎弥、乾山光子、大場信之、金田陽子、野原茂男、西中川秀太
第119回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 2024.12.15. 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	87.9	83.5	80.6
1日平均入院患者数	38.5	45.0	48.2

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	腸のその他の疾患	273	19.3	72.12	2.62
2	胆石症	79	5.6	74.77	17.75
3	腸の憩室性疾患	74	5.2	70.70	8.77
4	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	62	4.4	57.24	6.82
5	結腸の悪性新生物	54	3.8	79.15	14.00
6	結腸、直腸、肛門及び肛門管の良性新生物	42	3.0	73.38	3.00
7	胃の悪性新生物	38	2.7	78.11	15.32
8	脾の悪性新生物	38	2.7	77.53	17.47
9	直腸の悪性新生物	35	2.5	68.60	10.71
10	肝線維症及び肝硬変	33	2.3	75.58	15.79

02 腎臓代謝内科

医 師	副 部 長	杉 田 和 哉
令和7年 4月1日現在	医 師	岡 田 曹 志
		畠 中 優 人

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Prognosis and characteristics of Corynebacterium exit site infection : a single-center retrospective study

Sugita K, Washida N, Takahashi J, Tsunematsu M, Hosoya K, Ito J, Suzuki Y & Uchiyama K
Renal Replacement Therapy volume 10, Article number : 40 (2024)

腹膜透析継続中に尿毒症に至った1例

杉田和哉、細谷幸司、内山清貴、伊藤 純、鷺田直輝

臨牀透析 40巻13号 日本メディカルセンター(2024年12月発行). 2024.12.10

〔学会発表〕

Corynebacterium出口部感染の特徴と予後に関して：2施設後ろ向き研究

杉田和哉、細谷幸司、内山清貴、伊藤 純、井上高光、鷺田直輝

第69回日本透析医学会学術集会・総会. 2024.6.9. 横浜市

85歳以上の高齢末期腎不全患者に対する腹膜透析の有効性についての検討

杉田和哉、大塚哲哉、田村卓也、高橋潤二、細谷幸司、内山清貴、伊藤 純、鷺田直輝、浦野友彦

第66回日本老年医学会学術集. 2024.6.15. 名古屋市

PD患者及びPDとHDF併用患者における、ESA製剤からHIF-PH阻害薬への切り替えに伴う鉄動態や凝固項目の変化について

杉田和哉、細谷幸司、内山清貴、伊藤 純、鷺田直輝

第58回日本腎臓学会総会学術集会. 2024.6.29. 名古屋市

◆ 統 計

《患者数推移》

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	55.2	50.7	32.3
1日平均入院患者数	12.3	13.9	4.8

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	慢性腎臓病	23	22.3	76.30	16.22
2	ネフローゼ症候群	8	7.8	65.00	8.63
3	詳細不明の腎炎症候群	5	4.9	71.00	34.20
4	心臓及び血管のプロステーシス、挿入物及び移植片の合併症	5	4.9	72.00	1.20
5	その他の特殊目的用コード	5	4.9	86.40	12.60
6	その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	4	3.9	79.50	11.50
7	その他のえく壊死性血管障害	4	3.9	80.25	29.50
8	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	3	2.9	57.33	3.67
9	固形物及び液状物による肺臓炎	3	2.9	81.33	35.00
10	急性腎不全	3	2.9	50.00	5.33

03 呼吸器内科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	河 野 正 和	呼吸器副センター長(事)、 アスベスト疾患センター長(兼)
	第二部長	松 村 琢 磨	
	副 部 長	鈴 木 英 子	
		伊 藤 幸 祐	
	医 師	堀 磯 太	
		春 日 憲 太 郎	
		三 宅 浩 生	

◆ 業 績

〔学会発表〕

難治性喘息で紹介され好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の診断となった一例

三宅浩生

第44回日本サルコイドーシス／肉芽腫性疾患学会総会. 2024.10.11. 神戸市

てんかん発作に合併した神経原性肺水腫の1例

堂脇崇弘

第262回日本呼吸器学会関東地方会. 2024.11.30. 東京都

〔座長を務めた学会・研究会〕

施設による演題発表

松村琢磨

第11回呼吸器内科例会(第25回呼吸器内科同門会). 2024.1.7. 千葉市

高好酸球血症と喘息 type2炎症

河野正和

労災病院呼吸器懇話会. 2024.2.22. 川崎市

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	27.9	30.3	28.9
1日平均入院患者数	28.6	32.7	32.8

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	気管支及び肺の悪性新生物	169	24.7	76.05	14.22
2	固形物及び液状物による肺膿炎	87	12.7	85.93	33.52
3	肺炎、病原体不詳	46	6.7	66.89	13.65
4	その他の特殊目的用コード	40	5.9	79.95	16.23
5	その他の間質性肺疾患	36	5.3	80.61	38.19
6	睡眠障害	27	4.0	54.81	1.48
7	細菌性肺炎、他に分類されないもの	21	3.1	59.38	13.67
8	その他の慢性閉塞性肺疾患	17	2.5	75.94	15.35
9	肺及び縦隔の膿瘍	15	2.2	70.33	20.13
10	その他の非結核性抗酸菌による感染症	14	2.0	74.29	12.21

04 糖尿病・内分泌内科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長 医 師	桑 原 公一郎	栄養管理部長(兼)
		土 方 麻 衣	
		林 晃 司	
		曹 心 怡	
		金 澤 憲	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Impact of Glucocorticoid Replacement Therapy on Nocturnal Hypoglycemia in Adrenal Insufficiency : An Analysis of Multiple Case Studies

Ken Kanazawa, Mai Hijikata, Shinichiro Koga, Koichiro Kuwabara

Cureus 16(5) : e61456, 2024

Adrenal Insufficiency as a Contributor to Severe Hypoglycemia in Late Dumping Syndrome : A Case Series

Ken Kanazawa, Takeki Ito, Mai Hijikata, Koichiro Kuwabara

Cureus 16(12) : e75195, 2024

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	67.1	64.8	61.6
1日平均入院患者数	6.7	10.6	7.9

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	49	23.7	68.69	17.18
2	下垂体機能低下症及びその他の下垂体障害	45	21.7	57.89	4.20
3	その他の副腎障害	25	12.1	63.16	10.72
4	詳細不明の糖尿病	17	8.2	67.24	29.53
5	その他の膵内分泌障害	7	3.4	69.71	11.86
6	クッシング<Cushing>症候群	5	2.4	66.00	8.60
7	内分泌腺の性状不詳又は不明の新生物	3	1.4	79.67	10.67
8	1型<インスリン依存性>糖尿病<IDDM>	3	1.4	68.33	5.33
9	下垂体機能亢進症	3	1.4	57.00	10.67
10	腸のその他の疾患	3	1.4	64.00	3.00

05 総合診療科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	山 本 武 史	救急科部長(兼)
-----------------------	-----	---------	----------

◆ 統 計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	7.3	2.5	3.1
1日平均入院患者数	1.1	5.0	4.2

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	固形物及び液状物による肺膿炎	11	16.4	86.82	47.45
2	その他の特殊目的用コード	7	10.4	80.71	18.00
3	その他のインフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	4	6.0	66.00	7.50
4	心不全	3	4.5	92.00	23.33
5	細菌性肺炎,他に分類されないもの	3	4.5	49.33	8.33
6	肺炎、病原体不詳	3	4.5	54.33	14.33
7	急性尿細管間質性腎炎	3	4.5	80.00	10.67
8	詳細不明の認知症	2	3.0	85.00	16.00
9	うつ病エピソード	2	3.0	81.50	29.50
10	心停止	2	3.0	73.50	0.00

06 脳神経内科

医師 令和7年 4月1日現在	部長	三品 雅洋	院長補佐(兼)、地域医療連携室長(兼)
	副部長	藤澤 洋輔	
	医師	高橋 康大	
		黛 優美子	

◆ 業績

〔論文・著書〕

Safety of Antithrombotic Therapy within 24 Hours after Recombinant Tissue-Plasminogen Activator Treatment for Large-Artery Atherosclerosis Stroke : Insights from Emergent PTA/CAS Cases
Sakamoto Y, Nito C, Nishiyama Y, Suda S, Matsumoto N, Aoki J, Saito T, Suzuki K, Okubo S, Mishina M, Kimura K.

J Nippon Med Sch. 91 (3) : 307-315, 2024

A case of severe ARIA with multiple infarctions and extensive microbleeds following lecanemab administration

Yamazaki A, Sekine T, Takahashi S, Sohara K, Sakamaki M, Nagao T, Kimura K, Mishina M
Psychogeriatrics. 25(1), e13231, 2025. 2024.12.18

〔学会発表〕

COVID-19入院患者における認知症ケア加算対象者の実態調査

柳田香織、三品雅洋、長坂真喜子、大森真由美、木須菜月、若林磨美、原田理恵、河野正和、松村琢磨、藤澤洋輔、外間裕之、高橋康大、木村和美

第65回日本神経学会学術大会. 2024.5.29-6.1. 東京都

簡易な神経所見のとり方実践講座 神経所見の取り方と病的所見の画像を用いた解説

三品雅洋

第39回日本老年精神医学会大会. 2024.7.12-13. 札幌市

神経学的所見の取り方実践講座(アップグレードコース)「画像の読み方実践講座」

三品雅洋

第39回日本老年精神医学会大会. 2024.7.12-13. 札幌市

認知症予防専門医スキルアップセミナー「バイオマーカー」

三品雅洋

第13回認知症予防学会学術集会. 2024.9.27-29. 横浜市

Prodromal「レビイ小体病」について

三品雅洋

第64回日本核医学会学術総会. 2024.11.7-9. 横浜市

[講演会やテレビ出演]

高齢者の不眠症を考える－認知症との関連を中心に－

三品雅洋

大森蒲田不眠症診療WEBセミナー. 2024.2.15. 東京都

アミロイドPETの役割と意義

三品雅洋

認知症診療セミナー. 2024.2.27. 東京都

抗PD薬マネジメントの実際～MAOB阻害薬の役割を中心に～

三品雅洋

PDトータルマネジメントセミナー in 東葛. 2024.3.7. 柏市

抗アミロイド β 抗体薬治療ができる患者とできない患者

三品雅洋

品川認知症対策協議会第21回品川認知症勉強会. 2024.7.26. 東京都

抗アミロイド β 抗体薬登場で早期認知症診療がこう変わった

三品雅洋

Dementia Live Seminar 大森地区レケンビ静注連携WEBセミナー. 2024.9.2. 東京都

高齢者の不眠症を考える－認知症に伴う不眠症を含めて－

三品雅洋

大田区不眠症治療WEBセミナー. 2024.9.26. 東京都

パーキンソン病治療のUp-to-date

三品雅洋

品川区薬剤師会・大田区薬剤師会学術勉強会. 2024.10.3. 東京都

後部帯状回が低下したビタミンB12欠乏症

三品雅洋

Amyloid PET Imaging Web Seminar in kanto. 2024.10.9. 東京都

高齢社会における脳神経疾患の治療と対策 認知症治療の現状と展望

三品雅洋

田園調布医師会主催生涯教育セミナー. 2024.10.30. 東京都

アルツハイマー型認知症治療の新たな選択肢

三品雅洋

アリドネパッチ発売1周年記念講演会. 2024.12.5. 東京都

〔座長を務めた学会・研究会〕

「認知症関連疾患、認知症とCOVID-19」

三品雅洋

第13回認知症予防学会学術集会. 2024.9.27-29. 横浜市

「認知症の神経心理検査、評価法」

三品雅洋

第13回認知症予防学会学術集会. 2024.9.27-29. 横浜市

Prodromal レヴィ小体病

三品雅洋

第64回日本核医学会学術総会. 2024.11.7-9. 横浜市

脳SPECT：画像精度のチェックポイント

三品雅洋

第28回Neurology SPECT定量検討会. 2024.11.16. 東京都

◆ 総 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	20.4	21.4	23.7
1日平均入院患者数	11.6	15.6	17.3

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	脳梗塞	64	18.9	75.84	19.92
2	固形物及び液状物による肺膿炎	25	7.4	80.52	31.00
3	その他の特殊目的用コード	25	7.4	83.52	11.36
4	パーキンソン<Parkinson>病	14	4.1	74.71	27.50
5	脳内出血	11	3.2	67.00	29.36
6	めまい<眩暈>感及びよろめき感	11	3.2	70.27	1.91
7	てんかん	10	2.9	69.30	14.70
8	前庭機能障害	9	2.7	77.67	3.89
9	傾眠、昏迷及び昏睡	9	2.7	72.44	12.56
10	歩行及び移動の異常	8	2.4	71.25	29.88

医 師 令和7年 4月1日現在	副 院 長・ 部 長(事)	吉 玉 隆	内科部長(事)、臨床検査科部長(事)、 中央診療部統括部長(事)
	第二部長	浅 原 敏 之	難治性創傷治療センター(傷のケアセンター)長(兼)
	副 部 長	高 亀 則 博	
	医 師	和 田 七 海	
		有 上 周 佑	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Early Outcomes Following Transcatheter Closure With the Amplatzer Vascular Plug and Duct Occluder for Mitral Paravalvular Leak in Japanese Patients

Niikura H, Makino K, Kogame N, Hashimoto G, Yazaki Y, Hara H.

Circ J. 2024 Nov 28. doi : 10.1253/circj. CJ-24-0544. Epub ahead of print. PMID : 39603651.

Qfr Investigators OBOTD. Quantitative flow ratio versus fractional flow reserve for Heart Team decision-making in multivessel disease : the randomised, multicentre DECISION QFR trial

Asano T, Tanigaki T, Hoshino M, Yasunaga M, Nonaka H, Emori H, Katagiri Y, Miyazaki Y, Sotomi Y, Kogame N, Kuramitsu S, Saito A, Miyata K, Takaoka Y, Kanie T, Yamasaki M, Yoshino K, Wakabayashi N, Ouchi K, Kodama H, Shiina Y, Tamaki R, Nishihata Y, Masuda K, Suzuki T, Reiber JHC, Okamura T, Higuchi Y, Kakuta T, Misumi H, Abe K, Komiyama N, Tanabe K, Matsuo H
EuroIntervention. 2024 May 10 ; 20(9): 561-570. doi : 10.4244/EIJ-D-23-00674. PMID : 38726719 ; PMCID : PMC11067723.

ASET Japan and ASET Brazil Investigators. Geographic disparity of pathophysiological coronary artery disease characteristics : Insights from ASET trials

Kotoku N, Ninomiya K, Masuda S, Tsai TY, Revaiah PC, Garg S, Kageyama S, Tu S, Kozuma K, Kawashima H, Ishibashi Y, Nakazawa G, Takahashi K, Okamura T, Miyazaki Y, Tateishi H, Nakamura M, Kogame N, Asano T, Nakatani S, Morino Y, Ishida M, Katagiri Y, De Martino F, Tinoco J, Guimarães PO, Tanabe K, Ozaki Y, Muramatsu T, Lemos PA, Onuma Y, Serruys PW

Int J Cardiol. 2024 Apr 1 ; 400 : 131805. doi : 10.1016/j. ijcard. 2024. 131805. Epub 2024 Jan 23. PMID : 38272132.

〔学会発表〕

P2Y12inhibitor in the future

高亀則博

ランチョンセミナー、第32回日本心血管インターベンション治療学会総会、2024.7.25-27. 札幌市

Is drug-coated balloon effective for calcified lesion?

高亀則博

Symposium 11、第32回日本心血管インターベンション治療学会総会、2024.7.25-27. 札幌市

Role of modified balloon for lesion preparation

高亀則博

Symposium 36、第32回日本心血管インターベンション治療学会総会、2024.7.25-27. 札幌市

Keynote lecture : ACS症例におけるDCBの役割

高亀則博

第10回 Pan-Pacific Primary Angioplasty Conference 2024、2024.11.15-16. 東京都

〔座長を務めた学会・研究会〕

地域医療を支える漢方力

吉玉 隆

大森医師会 地域連携講演会 2024.2.7. 東京都

Jonan Collaboration Seminar

吉玉 隆

蒲田医師会 2024.9.9. 東京都

◆ 総 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	58.9	58.0	56.8
1日平均入院患者数	26.3	23.8	30.3

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院日数(日)
1	心不全	170	21.7	81.50	23.52
2	狭心症	104	13.2	75.09	2.90
3	心房細動及び粗動	72	9.2	71.58	5.08
4	アテローム<じゅく<粥>状>硬化(症)	53	6.8	78.72	6.79
5	その他の特殊目的用コード	31	3.9	82.48	9.65
6	急性心筋梗塞	25	3.2	74.32	13.32
7	固体物及び液状物による肺臓炎	25	3.2	86.16	39.12
8	その他の不整脈	22	2.8	81.05	12.18
9	房室ブロック及び左脚ブロック	21	2.7	77.57	9.10
10	肺炎、病原体不詳	15	1.9	83.13	14.87

08 精神科

医師 令和7年 4月1日現在	医師	出口 育海
----------------------	----	-------

◆ 統計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	20.8	21.5	20.3
1日平均入院患者数	0.0	0.0	0.0

09 小児科

医師 令和7年 4月1日現在	部長	直井 和之
----------------------	----	-------

◆ 統計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	9.9	8.7	7.1
1日平均入院患者数	0.0	0.0	0.0

10 消化器外科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	小 林 隆	院長補佐(兼)、外科部長(兼)、 外来化学療法室長(兼)、中央手術部長(兼)
	第二部長	神 山 博 彦	第二治療就労両立支援部長(兼)
	第三部長	秀 野 泰 隆	
	副 部 長	野 原 茂 男	
	医 師	安 城 芳 紀	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

上部消化管穿孔を疑う画像所見を呈した食道癌大動脈食道瘻に伴う急性胃拡張の1例

関 健太、森 和彦、遠田 讓、伊藤良太、久保賢太郎、小林 隆、川崎誠治

日本消化器外科学会雑誌 57(7) : 319-325、2024

〔学会発表〕

全国労災病院でのがん患者に対する仕事と治療の両立支援の取り組み

神山博彦、安城芳紀、野原茂男、秀野泰隆、小林 隆、杉山政則

第124回日本外科学会定期学術集会. 2024.4.18-20. 名古屋市

全国の労災病院における消化器がん患者に対する治療と仕事の両立支援の取り組み

神山博彦、安城芳紀、野原茂男、秀野泰隆、小林 隆、杉山政則

第79回日本消化器外科学会総会. 2024.7.17-19. 山口県

全国労災病院における癌患者に対する治療と仕事の両立支援の取り組み

神山博彦

第86回日本臨床外科学会学術集会. 2024.11.21-23. 宇都宮市

〔座長を務めた学会・研究会〕

脾臓：手術 合併症 1

小林 隆

第86回日本臨床外科学会学術集会. 2024.11.21-23. 宇都宮市

◆ 統 計

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	27.6	26.9	27.6
1日平均入院患者数	16.2	18.5	22.8

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	直腸の悪性新生物	73	13.4	71.53	7.03
2	結腸の悪性新生物	67	12.3	75.03	8.78
3	急性虫垂炎	48	8.8	48.10	7.94
4	そけい＜鼠径＞ヘルニア	36	6.6	72.25	5.83
5	胆石症	35	6.4	60.97	7.20
6	麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	30	5.5	72.73	15.00
7	消化器系の処置後障害、他に分類されないもの	27	4.9	70.41	13.52
8	腸のその他の疾患	25	4.6	71.04	4.20
9	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	20	3.7	51.35	2.80
10	胃の悪性新生物	17	3.1	78.94	12.94

11 呼吸器外科

医 師

令和7年
4月1日現在

部 長

穴 見 洋 一

呼吸器センター長(兼)

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Can a stapling device with bioabsorbable polyglycolic acid felt reduce intraoperative air leak?

Makino T, Matsumura T, Kono M, Anami Y

J Thorac Dis 16(2) :: 893-900, 2024

〔学会発表〕

急速な進行性の囊胞拡大を伴うSwyer ~James Macleod症候群の1例

牧野 崇、松村琢磨、河野正和、穴見洋一

第41回日本呼吸器外科学会学術集会. 2024.5.31-6.1. 長野県

◆ 総 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	5.5	5.2	5.4
1日平均入院患者数	3.4	4.3	6.1

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	気管支及び肺の悪性新生物	42	32.6	71.86	14.29
2	気胸	21	16.3	59.57	11.67
3	膿胸(症)	10	7.8	69.40	30.60
4	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	5	3.9	65.80	12.00
5	固体物及び液状物による肺膿炎	5	3.9	83.00	27.40
6	肺及び縦隔の膿瘍	5	3.9	58.80	13.20
7	肺炎、病原体不詳	4	3.1	85.25	16.50
8	その他の呼吸器障害	4	3.1	65.25	33.75
9	その他の特殊目的用コード	4	3.1	84.00	13.25
10	中耳、呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物	3	2.3	70.00	6.33

12 乳腺外科

医 師

令和7年
4月1日現在

副 部 長

金 田 陽 子

遺伝診療副部長(兼)

◆ 業 績

〔学会発表〕

当院における遺伝性腫瘍に対しての取り組み、現状と課題

金田陽子

第30回日本遺伝性腫瘍学会学術集会. 2024.6.1. 仙台市

当院における意思決定能力が脆弱な原発性乳癌10例の検討

金田陽子

第32回日本乳癌学会学術総会. 2024.7.13. 仙台市

多職種と地域との連携により、患者と家族の希望に沿った終末期の一症例

小原みづき、金田陽子

第72回日本職業・災害医学会学術大会. 2024.11.23. 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	6.8	6.4	7.3
1日平均入院患者数	1.6	0.7	2.0

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	乳房の悪性新生物	57	64.8	68.49	7.58
2	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	6	6.8	76.00	5.50
3	乳房の良性新生物	4	4.5	25.50	3.00
4	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物	3	3.4	44.67	2.00
5	リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物	2	2.3	78.00	7.50
6	乳房の炎症性障害	2	2.3	32.50	3.50
7	部位不明のウイルス感染症	1	1.1	46.00	8.00
8	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	1	1.1	77.00	64.00
9	乳房の上皮内癌	1	1.1	50.00	6.00
10	うつ病エピソード	1	1.1	77.00	12.00

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	金 井 宏 幸	関節センター長(兼)
	第二部長	相 原 正 宣	四肢外傷センター長(兼)
	第三部長	筋 野 隆	手外科センター長(兼)
	副 部 長	齊 木 寛	
	医 師	岡 村 博 輝	
		福 井 辰 侑	
		櫻 井 佑 斗	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

2本の4headless compression screwを固定した舟状骨骨折・偽関節の検討

櫻井佑斗

日手会誌 12.2024

Evaluation of the usefulness of non-weight -bearing tunnel view using X-ray in the short term after medial meniscus posterior root tear onset : a retrospective study. BMC Musculoskeletal Disorders 25 : 628-636, 2024

Okamura H

BMC Musculoskeletal Disorders

Osteotomy for Medial Meniscus Posterior Root Tear with Varus Knee Alignment : A Retrospective Study omeson Short-term Out

Okamura H : Medial Meniscus Posterior Root Reconstruction and Open-wedge High-tibial Cureus Open Access Original Article

〔学会発表〕

寛骨臼骨折後に行った人工股関節全置換術の治療成績と問題点

金井宏幸

第54回日本人工関節学会. 2024.2.24. 京都府

小児化膿性股関節炎と単純性股関節炎の鑑別

金井宏幸

第51回日本股関節学会. 2024.10.25. 岡山県

◆ 統 計

《患者数推移》

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	99.0	83.0	42.7
1日平均入院患者数	55.9	43.2	3.5

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	その他の整形外科的経過観察<フォローアップ>ケア	19	22.1	50.32	2.21
2	大腿骨骨折	18	20.9	84.83	65.06
3	前腕の骨折	10	11.6	50.10	3.10
4	腰椎及び骨盤の骨折	8	9.3	83.75	40.75
5	肩及び上腕の骨折	7	8.1	85.57	14.00
6	下腿の骨折、足首を含む	7	8.1	47.71	2.86
7	上肢の単ニューロパチ<シ>ー	3	3.5	62.00	2.00
8	その他の脊椎障害	2	2.3	86.50	16.50
9	化膿性関節炎	1	1.2	70.00	81.00
10	その他の変形性脊柱障害	1	1.2	68.00	4.00

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	7.0	5.6	6.1
1日平均入院患者数	0.8	0.2	0.3

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	眼瞼のその他の障害	14	43.8	77.36	1.50
2	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	7	21.9	61.29	5.86
3	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物	3	9.4	56.67	3.00
4	良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	2	6.3	24.00	1.00
5	皮膚のその他の悪性新生物	1	3.1	68.00	1.00
6	毛巣のう<囊>胞	1	3.1	25.00	7.00
7	皮膚及び皮下組織の放射線に関連するその他の障害	1	3.1	82.00	29.00
8	皮膚の肥厚性障害	1	3.1	55.00	1.00
9	皮膚及び皮下組織の限局性腫脹、 腫瘤<mass>及び塊<lump>	1	3.1	20.00	1.00
10	処置の合併症、他に分類されないもの	1	3.1	25.00	5.00

医 師 令和7年 4月1日現在	院 長	森 田 明 夫	
	部 長	加 藤 宏 一	職場復帰両立支援研究センター長(兼)、 治療就労両立支援部長(兼)
	医 師	中 村 友 宣 平 戸 麻里奈	

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Experience Using Gentian Violet-Free Dyes for Tissue Visualization

Matano F, Murai Y, Nounaka Y, Higuchi T, Mihara R, Isayama K, Morita A

J Neurol Surg A Cent Eur Neurosurg. 2024 Sep ; 85(5) : 526-530. doi : 10.1055/a-2175-3295. Epub 2023 Sep 13. PMID : 37703915

Is Oral Streptococcus mutans with Collagen-Binding Protein a Risk Factor for Intracranial Aneurysm Rupture or Formation?

Nakatogawa H, Hokamura K, Nomura R, Nakano K, Umemura K, Morita A, Homma Y, Tanaka T

Cerebrovasc Dis. 2024 ; 53(6) : 722-728. doi : 10.1159/000536203. Epub 2024 Jan 12. Erratum in : Cerebrovasc Dis. 2024 ; 53(3) : 362. doi : 10.1159/000538353. PMID : 38219720

Effectiveness of CI as an alternative to ABI for hearing loss in patients with vestibular schwannomas : A multicenter study in Japan

Imaizumi M, Takeda H, Minami S, Oishi N, Yamauchi D, Murono S, Nakatomi H, Saito K, Morita A, Fujii M

Auris Nasus Larynx. 2024 Dec ; 51(6) : 1009-1015. doi : 10.1016/j.anl.2024.10.010. Epub 2024 Oct 24. PMID : 39454246

A clinicopathological study of low back pain due to middle cluneal nerve entrapment : case series

Kim K, Shimizu J, Isu T, Morimoto D, Kubota A, Morita A, Murai Y

Eur Spine J. 2024 Feb ; 33(2) : 490-495. doi : 10.1007/s00586-023-07944-6. Epub 2023 Nov 4. PMID : 37924390

ime-frequency analysis reveals an association between the specific nuclear magnetic resonance (NMR) signal properties of serum samples and arteriosclerotic lesion progression in a diabetes mouse model
Yui K, Kanawaku Y, Morita A, Hirakawa K, Cui F

PLoS One. 2024 Mar 8 ; 19(3) : e0299641. doi : 10.1371/journal.pone.0299641. PMID : 38457384 ; PMCID : PMC10923453

Ganglia-Induced Tarsal Tunnel Syndrome

Koketsu K, Kim K, Tajiri T, Isu T, Morimoto D, Kokubo R, Dan H, Morita A

JNippon Med Sch. 2024 ; 91(1) : 114-118. doi : 10.1272/jnms.JNMS.2024_91-203. PMID : 38462440

Suzuki Stage VI Unilateral Moyamoya Disease Presenting With Massive Intraventricular Hemorrhage
Hirano Y, Miyawaki S, Koike T, Karasawa Y, Takenobu A, Morita A, Ogawa S, Torazawa S, Saito N, Teraoka A

Cureus. 2024 Feb 27 ; 16(2) : e55081. doi : 10.7759/cureus.55081. PMID : 38550484 ; PMCID : PMC10978066

Lung adenocarcinoma metastasis within a pituitary neuroendocrine tumor : a case report with review of literature

Suzuki K, Tahara S, Hattori Y, Teramoto S, Ishisaka E, Inomoto C, Osamura RY, Morita A, Murai Y
Endocr J. 2024 Mar 28 ; 71(3) : 295-303. doi : 10.1507/endocrj.EJ23-0372. Epub 2023 Dec 29.
PMID : 38171721

頭部外傷の初期診断と社会復帰における高次脳機能障害の課題

加藤宏一

賠償科学No52 11-16、2024

〔学会発表〕

Natural Course and Management of Unruptured Intracranial Aneurysms

Morita A

Facts Clarified by National and International Efforts. At The 18th Annual Meeting of the Saudi Association of Neurological Surgery. 2024.2.10. Gizan, Saudi Arabia

Complications and Attitude to Overcome Failure in Neurosurgery

Morita A

At The 18th Annual Meeting of the Saudi Association of Neurological Surgery. 2024.2.11. Gizan, Saudi Arabia

Medical Engineering and Robotics for Neurosurgery

Morita A

Science in Surgery. At The 18th Annual Meeting of the Saudi Association of Neurological Surgery. 2024.2.11. Gizan, Saudi Arabia

Robotics and Medical Engineering in the field of Neurosurgery

Morita A

at the 38th Annual Meeting of the Korean Spinal Neurosurgery Society, Neuro Spine Congress 2024. 2024.9.6. Seoul, Korea

Application of Robotics and Medical engineering for Micro-neurosurgery

Morita A

Special lecture at AACNS2024. 2024.11.9. Kaohsiung, Taiwan

Intracranial aneurysms and influencing factors for their rupture

Morita A

AACNS2024. 2024.11.9. Kaohsiung, Taiwan

優先順位をつけた災害対策マニュアルと災害対応の策定

加藤宏一、東園和也、中村友宣、市川綜一郎

第29回日本脳神経外科救急学会. 2024.2.2-3. 東京都

頭部外傷の初期診断と社会復帰における高次脳機能障害の課題

加藤宏一、市川綜一郎、中村友宣、東園和也、佐藤さとみ、新明綾乃、平澤芳恵、篠崎友詩、神山博彦、杉山政則

第29回日本脳神経外科救急学会. 2024.2.2-3. 東京都

脳卒中後高次機能障害による「治療と仕事の両立支援」での課題

加藤宏一、市川綜一郎、中村友宣、東園和也、佐藤さとみ、新明綾乃、平澤芳恵、篠崎友詩、神山博彦、杉山政則

STROKE2024. 2024.3.7-9. 横浜市

頭部外傷後高次脳機能障害における障害認定と訴訟の課題

加藤宏一、中村彰宏、中村友宣、森田明夫、水谷 徹

日本脳神経外科学会 第83回学術総会. 2024.10.16-18. 横浜市

椎骨動脈解離性動脈瘤に対するフローダイバーター治療後、造影剤脳症が遷延した1例

加藤宏一、中村彰宏、中村友宣、森田明夫、水谷 徹

第40回日本脳神経血管内治療学会学術総会. 2024.11.21-23. 熊本市

両立支援介入し退職の経過となった脳卒中患者の検討

加藤宏一、中村彰宏、中村友宣、佐藤さとみ、平澤芳恵、篠崎友詩、神山博彦2、森田明夫

第72回日本職業・災害医学会学術大会. 2024.11.23-24. 東京都

災害後の脳卒中

加藤宏一、中村彰宏、中村友宣、森田明夫、水谷 徹

第72回日本職業・災害医学会学術大会. 2024.11.23-24. 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	22.4	21.9	21.8
1日平均入院患者数	22.3	18.0	27.0

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	脳梗塞	113	24.7	76.28	29.30
2	脳内出血	60	13.1	71.75	39.32
3	頭蓋内損傷	58	12.7	76.60	19.52
4	前庭機能障害	30	6.6	67.00	2.20
5	脳実質外動脈(脳底動脈、頸動脈、椎骨動脈)の閉塞及び狭窄、脳梗塞に至らなかったもの	24	5.2	73.96	16.58
6	てんかん	22	4.8	60.73	12.18
7	その他の脳血管疾患	17	3.7	67.94	7.53
8	くも膜下出血	15	3.3	64.47	44.87
9	その他の非外傷性頭蓋内出血	12	2.6	77.83	20.00
10	頭部の表在損傷	9	2.0	49.67	1.11

16 皮膚科

医師 令和7年 4月1日現在	副部長 医師	横田真樹 前川真穂
----------------------	-----------	--------------

◆ 業績

〔論文・著書〕

臀部に発生したdesmoplastic fibroblastomaの1例

吉濱絵里、今井俊輔、秀野泰隆、小林 隆、林 健

臨床皮膚科78(6) : 405-409、2024

〔学会発表〕

generalizedmorpheaの1例

前川真穂、志水陽介、漆畠真理、種瀬啓士、石河 晃、竹内常道

第910回日本皮膚科学会東京地方会 2024.1.12 東京都

重症汎発型単純型表皮水疱症の1例

横田真樹、吉田憲司、海老原椿、前川真穂、石河 晃

第45回水疱症研究会 2024.1.12-13 奈良市

肛門部に限局したHailey-Heiley病の1例

前川真穂、田中博子、小原英美子、種瀬啓士、石河 晃、武田朋子

第911回日本皮膚科学会東京地方会 2024.5.18 東京都

重症汎発型単純型表皮水疱症の1例

前川真穂、横田真樹、吉田憲司、海老原椿、石河 晃

第48回日本小児皮膚科学会学術大会 2024.7.6-7 東京都

〔講演会やテレビ出演〕

頭頂部の淡紅色結節

横田真樹

第21回東邦デルマ懇話会 2024.7.13 東京都

足爪白癬について

横田真樹

科研製薬社内勉強会 2024.12.10 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	52.0	49.8	50.4
1日平均入院患者数	8.7	8.1	11.8

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	蜂巣炎<蜂窩織炎>	56	24.0	73.13	15.39
2	帯状疱疹[帯状ヘルペス]	22	9.4	74.86	7.77
3	じょくく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	19	8.2	78.68	49.74
4	皮膚のその他の悪性新生物	17	7.3	83.00	5.94
5	良性脂肪腫性新生物(脂肪腫を含む)	10	4.3	59.60	3.60
6	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物	8	3.4	57.50	2.50
7	骨髄炎	6	2.6	63.50	27.50
8	皮膚のその他の先天奇形	5	2.1	4.00	1.00
9	えく壞>疽、他に分類されないもの	5	2.1	60.40	33.60
10	その他の細菌性疾患、他に分類されないもの	4	1.7	63.75	30.25

17 泌尿器科

医 師 令和7年 4月1日現在	副 院 長・ 部 長(事)	新 井 兼 司	入院・外来診療部統括部長(事)
	副 部 長	清 水 知	
	医 師	坂 本 憲 亮	
		玉 田 健 人	

◆ 統 計

《患者数推移》

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	45.8	41.3	41.0
1日平均入院患者数	9.8	8.8	11.1

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	前立腺の悪性新生物	108	21.6	75.02	6.28
2	腎結石及び尿管結石	89	17.8	58.55	5.21
3	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	58	11.6	67.43	3.21
4	前立腺肥大(症)	52	10.4	77.63	7.48
5	膀胱の悪性新生物	51	10.2	72.71	9.88
6	急性尿細管間質性腎炎	19	3.8	76.84	16.11
7	膀胱炎	10	2.0	80.70	16.40
8	下部尿路結石	9	1.8	80.44	12.00
9	前立腺の炎症性疾患	9	1.8	75.89	7.89
10	腎孟の悪性新生物	8	1.6	73.88	12.88

◆ 統 計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	8.9	5.6	1.8
1日平均入院患者数	0.9	0.6	0.0

医 師 令和7年 4月1日現在	医 師	大矢紘輔 秋山朋代 和田奈緒子 杉本智美
-----------------------	-----	-------------------------------

◆ 業 績

〔論文・著書〕

Multimodal Imaging of Optic Nerve Head in Retinitis Pigmentosa
Wada N
Seminars in ophthalmology 39(6) : 480-487, 2024

〔学会発表〕

Epithelial sheet thickness measurement following cultivated oral mucosal epithelial sheet transplantation
Kosuke O
APAO2024 BALI INDONESIA In Conjunction with The 49th Indonesian Ophthalmologists Association Annual Meeting. 2024.2.22-25. Bali, Indonesia

Validation of the Japanese version of the Impact of Vision Impairment (IVI) questionnaire
Saiko Matsumura, Eva K. Fenwick, Momoko Kawakami, Seiji Takagi, Naoko Wada, Hidemasa Takumi, Ecosse L. Lamoureux, Yuichi Hori
The Association for Research in Vision and Ophthalmology 2024, 2024.5.5-9. Seattle, WA

Ocular structure of early-onset myopic eyes in preschool children
Saiko Matsumura, Momoko Kawakami, Naoko Wada, Kazuhiko Dannoue, Tadashi Matsumoto, Yuichi Hori
International Myopia Congress 2024, 2024.9.23. 長沙市、中国

Ocular structure change of myopic eyes in Japanese preschool children
Saiko Matsumura, Momoko Kawakami, Naoko Wada, Kazuhiko Dannoue, Keiko Uemura, Tadashi Matsumoto, Yuichi Hori
The 17th Joint Meeting of Japan Korea China Ophthalmologists, 2024.11.9. 東京都

視覚障害の影響に関する質問票 (IVI) 日本語版の検証
松村沙衣子、Eva K. Fenwick、川上桃子、高木誠二、和田奈緒子、内匠秀尚、Ecosse L. Lamoureux、堀 裕一
第128回日本眼科学会総会、2024.4.18-21. 東京都

未就学児健診における長眼軸長の特徴と網脈絡脈評価
千葉絵理香、松村沙衣子、川上桃子、和田奈緒子、檀ノ上和彦、上村景子、松本 直、堀 裕一
第80回日本弱視斜視学会総会、2024.6.14-15. 静岡県

近視抑制治療患児における瞳孔径および高次収差と実用視力の関連について
糸川貴之、松村沙衣子、和田奈緒子、川上桃子、松本 直、石川 均、堀 裕一
第66回日本コンタクトレンズ学会総会、2024.7.14-15. 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》 (人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	37.3	34.4	24.6
1日平均入院患者数	2.8	2.2	0.0

令和6年度は入院休止、令和7年度より入院再開

20 耳鼻咽喉科

医 師	部 長	高 柳 博 久
令和7年 4月1日現在	医 師	小 池 遥 介
		亀 井 真 帆

◆ 業 績

〔主催した研究会〕

当院での鼻茸を伴う慢性副鼻腔炎の治療 一デュピルマブの使用経験を中心に一

高柳博久

airway seminar in OTA. 2024.10.23. 東京都

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	31.3	35.4	34.7
1日平均入院患者数	5.7	6.8	6.5

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	32	8.3	23.97	7.41
2	急性扁桃炎	31	8.1	30.45	6.42
3	慢性副鼻腔炎	31	8.1	58.84	4.84
4	前庭機能障害	30	7.8	70.23	5.00
5	その他の特殊目的用コード	28	7.3	83.54	6.50
6	めまい<眩暈>感及びよろめき感	27	7.0	70.85	4.26
7	その他の難聴	22	5.7	61.23	7.18
8	鼻及び副鼻腔のその他の障害	16	4.2	44.19	4.25
9	扁桃周囲膿瘍	14	3.6	35.00	5.64
10	顔面神経障害	13	3.4	61.69	6.69

21 リハビリテーション科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	鈴 木 久美子	
	第二部長	浪 岡 隆 洋	
	第三部長(兼)	浪 岡 愛	脳神経移植科部長

◆ 業 績

〔学会発表〕

亜急性期脊髄損傷のリハビリテーションにおけるホルモン補充の重要性

浪岡 愛

第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2024.11.1-3. 岡山県

〔主催した研究会〕

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

4東病棟勉強会. 2024.4.22. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

大田病院 講演. 2024.4.24. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

7東病棟勉強会. 2024.4.24. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

4階西病棟勉強会. 2024.4.30. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

リハビリテーション部勉強会. 2024.5.2. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡 隆洋、浪岡 愛

5階西病棟勉強会. 2024.8.8. 東京都

東京労災病院症例のご紹介

浪岡 隆洋、浪岡 愛

埼玉医科大学 医学部総合医療センター 高度救命救急センター 勉強会. 2024.10.12. 埼玉県

◆ 統 計

《患者数推移》

(人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	121.1	130.3	114.8
1日平均入院患者数	0.0	0.0	0.0

22 脳神経移植科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長 第二部長(兼)	浪 岡 愛 浪 岡 隆 洋	第三リハビリテーション科部長(兼) 第二リハビリテーション科部長
-----------------------	----------------	------------------	-------------------------------------

◆ 業 績

〔主催した研究会〕

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

4東病棟勉強会. 2024.4.22. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

大田病院 講演. 2024.4.24. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

7東病棟勉強会. 2024.4.24. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

4階西病棟勉強会. 2024.4.30. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

リハビリテーション部勉強会. 2024.5.2. 東京都

ニプロ脊髄損傷患者への再生医療に対する東京労災病院の取り組み

浪岡隆洋

ニプロ株式会社 東京CPF 勉強会. 2024.6.12. 東京都

ステミラック治療の現状と展望

浪岡隆洋、浪岡 愛

5階西病棟勉強会. 2024.8.8. 東京都

東京労災病院症例のご紹介

浪岡隆洋、浪岡 愛

埼玉医科大学 医学部総合医療センター 高度救命救急センター 勉強会. 2024.10.12. 川越市

◆ 統 計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	0.7	0.8	0.7
1日平均入院患者数	2.6	4.7	5.2

《症例件数》

順位	疾 患 名	症例数 (件)	比 率 (%)	平均年齢 (歳)	平均在院 日数(日)
1	頸部の神経及び脊髄の損傷	22	57.9	61.95	58.55
2	腹部、下背部及び骨盤部の神経及び脊髄の損傷	5	13.2	36.40	41.60
3	胸部<郭>の神経及び脊髄の損傷	3	7.9	36.33	64.33
4	詳細不明の認知症	2	5.3	95.00	51.50
5	結腸の悪性新生物	1	2.6	95.00	10.00
6	脳及び中枢神経系の性状不詳又は不明の新生物	1	2.6	71.00	72.00
7	心停止	1	2.6	61.00	35.00
8	膿胸(症)	1	2.6	80.00	4.00
9	下肢の潰瘍、他に分類されないもの	1	2.6	81.00	10.00
10	異常不随意運動	1	2.6	24.00	11.00

23 放射線診断科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	長瀬 雅則	診療情報管理室長(兼)
	医 師	池 田 紫	

◆ 統 計

《患者数推移》 (人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	6.0	6.4	6.4

24 放射線治療科

◆ 統 計

《患者数推移》 (人／日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	8.7	9.2	7.7

25 麻酔科

医師 令和7年 4月1日現在	部長 医師 診療看護師	本多信雅 菊地健太 渡辺恵
----------------------	-------------------	---------------------

◆ 統計

《患者数推移》

(人/日)

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
1日平均外来患者数	0.2	0.3	0.2

26 救急科

医師 令和7年 4月1日現在	部長(兼)	山本武史	総合診療科部長
----------------------	-------	------	---------

◆ 統計

《救急車で搬送された患者・救急車で搬送され入院となった患者割合(1ヶ月平均)》

	①救急搬送件数	②①のうち入院	③救急搬送入院割合(②/①)
令和4年度	256.5	122.9	47.9%
令和5年度	320.3	153.0	47.8%
令和6年度	282.5	153.4	54.3%

救急搬送実績はP 62を参照ください。

27 臨床検査科

医 師 令和7年 4月1日現在	副 院 長・ 部 長 第二部長	吉 玉 隆 志 村 俊 郎	内科部長(事)
-----------------------	-----------------------	------------------	---------

◆ 業 績

〔論文・著書〕

済生学舎と野口英世－野口博士15年ぶりの一時帰国を中心に－

志村俊郎

日本医史学雑誌 第70巻 第3号 第125回 日本医史学会 総会差抄本録号 通巻第1595号 303-303 一般社団法人 日本医史学会. 一般社団法人 日本医史学会. 2024.9.20

28 病理診断科

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	塩 野 さおり
-----------------------	-----	---------

◆ 業 績

〔学会発表〕

超音波で経時に経過を追えた細胆管細胞癌 2例

荻野 悠、塩野さおり

第36回日本超音波学会 関東地方会. 2024.10.6. 東京都

腸閉塞を契機に診断し得た乳癌十二指腸転移の一例

池上 遼、塩野さおり

第119回日本消化器内視鏡学会関東支部例会. 2024.12.15. 東京都

医 師 令和7年 4月1日現在	部 長	谷 理 恵	勤労者予防医療部長(兼)
-----------------------	-----	-------	--------------

◆ 統 計

《実 績》 (件数)

	健 診 項 目	令和6年度
人間ドック	脳 ド ッ ク	9
	半 日 ド ッ ク	476
	一 泊 ド ッ ク	55
	小 計	540
一般 健 診	定 期 健 診	299
	雇 入 健 診	85
	公 害	84
	成 人 健 診	1
	そ の 他	12
	労 災 二 次 検 診	7
	風 し ん 抗 体 検 査	0
	小 計	488
大田区健診	特 定 健 診	508
	肺 癌 検 診	245
	大 腸 癌 検 診	262
	胃 癌 検 診	183
	骨粗 し ゆう 症 検 診	0
	小 計	1,198
特 殊 健 診	粉 鹿	50
	有 機 溶 剤	53
	禁 止 物 質 ベンジジン他	18
	石 綿	443
	特化 1 類 ジアニシジン他	2
	特化 2 類 カドミウム他	50
	特化 3 類 硒 素 他	0
	そ の 他 深 夜 業	383
	特 殊 健 診 小 計	999
合 計		3,225

認定・専門 資格取得 スタッフ <small>令和7年 4月1日現在</small>	部 長	河 井 良 智	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師、日本薬剤師研修センター実務実習指導薬剤師、障害者職業生活相談員、医療安全管理者
	副 部 長	坂 本 拓 也	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師、日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、日本病院薬剤師会感染制御専門薬剤師、日本化学会抗生物化療法認定薬剤師、日本薬剤師研修センター実務実習指導薬剤師、医療安全管理者
	副部長補佐	井 上 優 子	日本薬剤師研修センター認定薬剤師、日本病院薬剤師会認定指導薬剤師、日本循環器学会心不全療養指導士、日本高血圧学会循環器病予防療養指導士
	主任薬剤師	鈴 木 美 和	日本栄養治療学会NST専門療養士、日本薬剤師研修センター実務実習指導薬剤師
		青 柳 晴 彦	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、日本病院薬剤師会認定指導薬剤師、日本薬剤師研修センター認定薬剤師、日本薬剤師研修センター実務実習指導薬剤師、日本薬剤師研修センター漢方薬・生薬認定薬剤師、糖尿病療養指導士
		奥 田 和 貴	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師、日本臨床腫瘍薬学会外来がん治療認定薬剤師
		小 松 浩 大	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、糖尿病療養指導士
		渡 邊 卓 巳	DMAT、日本臨床救急医学会救急認定薬剤師
	薬 剤 師	小 川 実 華	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師
		梅 本 穂 乃 佳	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師、日本循環器学会心不全療養指導士
		高 木 栄 希	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師
		団 師 彩 音	日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師

◆ 業 績

〔論文・著書〕

薬剤師による薬剤アレルギー登録全例チェック体制の構築と医療安全に対する効果の検討

坂本拓也

医療薬学、50(7) 328-338, 2024

〔学会発表〕

次亜塩素酸ナトリウム適正使用への取り組み

坂本拓也

第39回日本環境感染学会総会・学術集会. 2024.7.26. 京都市

携帯型PCAポンプを用いて医療用麻薬を持続皮下注射し自宅退院となった1症例

小川実華

第34回日本医療薬学会年会. 2024.11.3. 千葉市

クラリスロマイシンの適正使用を目的とした使用届出制導入の効果の検討

坂本拓也

第94回日本感染症学会西日本地方学術集会. 2024.11.14. 神戸市

クラリスロマイシンの適正使用を目的とした使用届出制導入の効果の検討

坂本拓也

第72回日本化学療法学会西日本支部総会. 2024.11.14. 神戸市

〔主催した研究会〕

薬の飲み合わせとは

鈴木美和

大森南図書館出前講座. 2024.1.11. 東京都

血圧を下げる薬の話

井上優子

大森南図書館出前講座. 2024.2.8. 東京都

当院における薬剤業務と製薬企業に臨むこと

荒井宏人

企業セミナー. 2024.2.9. 東京都(Hybrid)

身体にやさしい漢方

青柳晴彦

大森南図書館出前講座. 2024.5.17. 東京都

いまどきの抗がん剤

奥田和貴

大森南図書館出前講座. 2024.9.27. 東京都

31 中央検査部

認定・専門 資格取得 スタッフ 令和7年 4月1日現在	部長	山形 篤志	認定輸血検査技師
	主任検査技師	奥嶋 博美	認定輸血検査技師、認定血液検査技師、認定救急検査技師、がんゲノム医療コーディネーター、東京肝炎医療コーディネーター、毒物劇物取扱責任者
		諏訪 真知子	糖尿病療養指導士
		青野 佳美	細胞検査士、超音波検査士(体表)、毒物劇物取扱責任者
	臨床検査技師	藤井 信重	細胞検査士
		斎藤 寿哉	細胞検査士
		斎藤 舞	細胞検査士
		田辺 謙	細胞検査士
		中村 圭吾	認定輸血検査技師
		渡辺 世志樹	超音波検査士(循環器)、超音波検査士(消化器)
		渕本 芳行	細胞検査士、認定救急検査技師、認定病理検査技師、がんゲノム医療コーディネーター、毒物劇物取扱責任者、第一種作業環境測定士、医療安全管理者、

◆ 業 績

〔学会発表〕

当院で心臓超音波検査が心アミロイドーシスの診断に有用だった症例

渡邊楓佳

全国労災病院臨床検査技師会 関東地区学会. 2024.11.16. 横浜市

32 中央放射線部

認定・専門 資格取得 スタッフ 令和7年 4月1日現在	部 長	林 美智子	X線CT認定技師、肺がんCT検診認定技師、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者、医療情報技師、放射線管理士、放射線機器管理士、臨床実習指導教員、AI認定診療放射線技師
	主任 放射線技師	三富 明	医療情報技師、臨床実習指導教員
		平田 匡心	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
		矢島 義久	第1種放射線取扱主任者
	放射線技師	山本 芳美	X線CT認定技師、肺がんCT検診認定技師、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
		美野 龍太郎	核医学専門技師
		十文字 賢逸	医学物理士、第1種放射線取扱主任者
		秋山 仁美	磁気共鳴専門技術者、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者
		大西 莞太	放射線管理士、放射線機器管理士
		鈴木 歩美	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
		片岡 璃香	磁気共鳴専門技術者、検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、第1種放射線取扱主任者
		関口 真衣	検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
		福田 佳史	X線CT認定技師
		佐藤 祐介	X線CT認定技師

◆ 業 績

[講演会やテレビ出演]

放射線治療～切らずに治すがん治療の特徴～

大西莞太

大田区図書館出張講座. 2024.6.12. 東京都

東京労災病院の現状と意識調査

松本 司

関東地区労災病院放射線技師会 令和6年度(第31回)総会・学術研修会. 2024.11.9. 川崎市

施設紹介

美野龍太郎

令和5年度 機構放射線技師会 核医学カンファレンス. 2024.3.2. 川崎市

33 中央リハビリテーション部

認定・専門 資格取得 スタッフ 令和7年 4月1日現在	部 長	足 立 博 史	3学会合同呼吸療法認定士、心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士
	主 任 理学療法士	山 崎 智 子	3学会合同呼吸療法認定士、介護支援専門員、福祉・住環境コーディネーター2級、認定理学療法士(運動器)、認定理学療法士(呼吸)、認定理学療法士(脳卒中)、がんリハ講習会修了者、両立支援コーディネーター、社会教育主事、MTAインストラクター、臨床実習指導資格
		遠 山 敬 輔	3学会合同呼吸療法認定士、認定理学療法士(運動器)、がんリハ講習会修了者、臨床実習指導資格
		大 渕 竜太郎	がんリハ講習会修了者、心臓リハビリテーション指導士、心不全療養指導士、臨床実習指導資格
		大 宮 博 之	認定理学療法士(スポーツ)、がんリハ講習会修了者、中級障害者スポーツ指導員、NASM PES、臨床実習指導資格
	理学療法士	大 塚 珠 代	3学会合同呼吸療法認定士、介護支援専門員、がんリハ講習会修了者、臨床実習指導資格
		中 里 成 亮	がんリハ講習会修了者、両立支援コーディネーター、臨床実習指導資格、BLS probider
		木 戸 槟 吾	がんリハ講習会修了者、両立支援コーディネーター、臨床実習指導資格
		河 村 美 波	認定理学療法士(スポーツ)、がんリハ講習会修了者、NASM PES、臨床実習指導資格
		上 條 貴 広	がんリハ講習会修了者
主 任 作業療法士		温 井 陽 斗	がんリハ講習会修了者、心不全療養指導士、両立支援コーディネーター
	主 任 作業療法士	岩 崎 真由美	介護支援専門員、がんリハ講習会修了者、精密知覚機能検査(セメス)、両立支援コーディネーター、臨床実習指導資格
		吉 岡 祐一郎	がんリハ講習会修了者、精密知覚機能検査(セメス)、両立支援コーディネーター、臨床実習指導資格
	作業療法士	高 橋 秀 太	がんリハ講習会修了者、両立支援コーディネーター、ホスピタリィコーディネーター、臨床実習指導資格、急性期ケア専門士
		丸 野 達 也	がんリハ講習会修了者
		山 蔦 朱 香	がんリハ講習会修了者、両立支援コーディネーター
	主 任 言語聴覚士	鈴 木 志 織	がんリハ講習会修了者
	言語聴覚士	中 野 由 紀	がんリハ講習会修了者

◆ 業 績

〔学会発表〕

ACL部分損傷に対しPRP治療に積極的リハビリテーションを併用した保存療法により早期復帰を実現した症例

河村美波、大宮博之

第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会. 2024.1.6-7. さいたま市

足関節骨折(L-H分類 SER型 stageIV)術後に対しPRP治療と積極的リハビリテーションにより早期競技復帰を果たした高校ラグビー選手の一症例

大宮博之、河村美波、羽田晋之介

第10回日本スポーツ理学療法学会学術大会. 2024.1.6-7. さいたま市

脛骨粗面剥離骨折術後に超音波エコー装置を用いて理学療法を実施し高校サッカーへ競技復帰を果たした症例

大宮博之、河村美波、上條貴広

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 2024.10.5-6. 千葉市

脊髄麻痺を呈した化膿性脊椎炎に対し、長期間の抗生素治療と理学療法を実施し職場復帰に至った症例

上條貴広、大宮博之

第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会. 2024.10.5-6. 千葉市

片脚垂直連続ホッピングにおける跳躍方法の違いが跳躍高やReactive Strength Indexに及ぼす影響

大宮博之、河村美波、上條貴広、間宵美羽、羽田晋之介

第35回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2024.11.16-17. 新潟市

Effects of movement speed on shoulder and trunk muscle activity and timing during support sculling in artistic swimming

Minami K, Ryo O, Hirofumi J

Sports Medicine Australia. 2024.10.16-19. Melbourune, Australia

認定・専門 資格取得 スタッフ 令和7年 4月1日現在	部長	八巻 学
	主任臨床工学技士	小川 樹男
		高橋 正裕
		五十嵐 真樹
		大田 明日美
	臨床工学技士	澁谷 有美

◆ 業 績

〔学会発表〕

10年後の自分を想像しよう～CEのキャリアデザイン～

澁谷有美

第7回神奈川県臨床工学会 2024.11.10. 横浜市

〔座長を務めた学会・研究会〕

第69回日本透析医学会学術集会・総会 2024.6.8. 横浜市

八巻 学

35 看護部

認定・専門 資格取得 スタッフ 令和7年 4月1日現在	専門看護師	柳田香織	精神看護
		長崎一美	慢性疾患看護
	認定看護師	小泉麻美	糖尿病看護
		岩塚晶子	糖尿病看護
		大久保麻依	緩和ケア
		熊澤美紀子	感染管理
		金澤典子	摂食・嚥下障害看護
		吉田絵美	認知症看護
		三宅厚子	心不全看護
		久保木優子	皮膚・排泄ケア
		鈴木理枝	皮膚・排泄ケア
		石井早苗	クリティカルケア
	特定看護師	渡辺恵	21区分38行為
		山本裕子	創傷管理
		鈴木理枝	創傷管理
		渡部仁美	基本
		久保木優子	創傷管理
		松本正美	基本
		石井早苗	救急・集中
		三宅厚子	救急・集中
		市菌雅子	糖尿病ケア
		酒巻香織	創傷管理
		佐賀将浩	救急・集中
		小林玄太	救急・集中
		俵井美帆	糖尿病ケア
		館花真意	糖尿病ケア
		井清真弓	創傷管理
		千葉由依	救急・集中
		中村理奈子	糖尿病ケア
		畠山香里	糖尿病ケア
		坂元みのり	糖尿病ケア
		泉谷典子	救急・集中
		岡本可奈	術中麻酔管理
		木須菜月	救急・集中

◆ 業 績

〔論文・著書〕

がん化学療法を受ける糖尿病患者

岩塚晶子

今日からはじめる病棟・外来でできる糖尿病看護 p252-262 Gakken 2024

糖尿病網膜症の理解と看護のポイント

小泉麻美

糖尿病看護スタンダード. 2024.8.5. 日本糖尿病教育・看護学会

3分でわかる糖尿病ってなに？

長崎一美

今日からはじめる 病棟・外来でできる糖尿病看護. 2024.8.13. 株式会社学研

〔学会発表〕

多職種と地域との連携により、患者と家族の希望に沿った終末期看護の一症例

小原みづき、藤野由紀子、鈴木理枝、大久保麻衣、大橋智美、金田陽子

第72回日本職業・災害医学会学術大会. 2024.11.23. 東京都

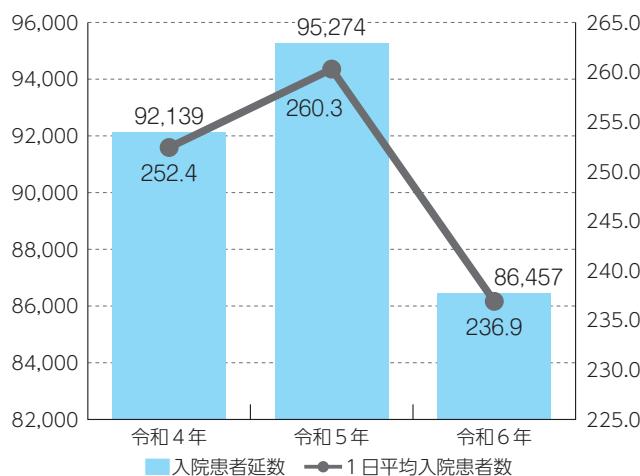
II. 業務統計

Japan Organization of Occupational Health and Safety
TOKYO ROSAI HOSPITAL
MEDICAL INFORMATION
2024

01 患者数等推移

	R 4年度	R 5年度	R 6年度
入院患者延数	92,139	95,274	86,457
1日平均入院患者数	252.4	260.3	236.9
新入院患者数	6,287	6,557	5,954
退院患者数	6,295	6,587	5,961
平均在院日数	14.6	14.5	14.5
病床利用率	63.1%	65.1%	59.2%
外来患者延数	203,697	196,802	173,076
1日平均外来患者数	838.3	809.9	712.2
救急患者数	6,880	7,828	6,799
救急車受入件数	3,078	3,843	3,390

《入院患者》



《外来患者》



《救急患者》



02 疾病構成

《ICD-10 疾病大分類別退院患者数(令和6年度)》

ICD-10 疾病大分類	患者数(人)				平均年齢(歳)	平均在院日数(日)	死亡数(人)	死亡率(%)
	計	比率(%)	男	女				
総計	6,591	100.0	3,806	2,785	71.2	13.1	235	3.6
A00-B99 感染症及び寄生虫	267	4.1	132	135	59.4	9.1	7	2.6
C00-D48 新生物	1,136	17.2	766	370	72.6	11.3	55	4.8
D50-D89 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	39	0.6	26	13	76.1	14.5	4	10.3
E00-E90 内分泌、栄養及び代謝疾患	285	4.3	143	142	70.3	12.6	5	1.8
F00-F99 精神及び行動の障害	32	0.5	9	23	70.9	11.4	0	0.0
G00-G99 神経系の疾患	196	3.0	121	75	64.8	11.8	1	0.5
H00-H59 眼及び付属器の疾患	18	0.3	9	9	74.9	2.8	0	0.0
H60-H95 耳及び乳様突起の疾患	125	1.9	46	79	64.8	4.3	0	0.0
I00-I99 循環器系の疾患	971	14.7	572	399	76.5	17.1	78	8.0
J00-J99 呼吸器系の疾患	829	12.6	494	335	70.2	17.8	42	5.1
K00-K93 消化器系の疾患	1,139	17.3	620	519	70.4	10.6	19	1.7
L00-L99 皮膚及び皮下組織の疾患	127	1.9	66	61	73.1	18.4	2	1.6
M00-M99 筋骨格系及び結合組織の疾患	81	1.2	37	44	71.1	24.9	1	1.2
N00-N99 尿路性器系の疾患	471	7.1	301	170	71.6	9.6	4	0.8
Q00-Q99 変形及び染色体異常	15	0.2	2	13	36.3	4.5	0	0.0
R00-R99 症状、微候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	225	3.4	115	110	69.8	10.3	6	2.7
S00-T98 損傷・中毒及びそのたの外因の影響	291	4.4	166	125	67.4	22.1	7	2.4
U00-U85 特殊目的用コード	260	3.9	120	140	82.1	9.3	4	1.5
Z00-Z99 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	84	1.3	61	23	59.0	1.9	0	0.0

《上位30疾患 退院患者数(令和6年度)》

順位	ICD-10	疾患名(ICD-10中分類に準ずる)	患者数(人)				平均年齢(歳)	平均在院日数(日)	死亡退院(人)
			総計	比率(%)	男	女			
1	K63	腸のその他の疾患	304	4.6	183	121	71.9	2.8	0
2	U07	その他の特殊目的用コード	260	3.9	120	140	82.1	9.3	4
3	J69	固体物及び液状物による肺臓炎	224	3.4	124	100	84.9	30.4	21
4	C34	気管支及び肺の悪性新生物	213	3.2	139	74	75.1	14.3	20
5	I50	心不全	197	3.0	96	101	81.6	22.3	25
6	I63	脳梗塞	184	2.8	109	75	76.5	25.5	9
7	A09	その他の胃腸炎及び大腸炎、感染症及び詳細不明の原因によるもの	128	1.9	57	71	51.3	4.4	0
8	C18	結腸の悪性新生物	122	1.9	79	43	77.0	11.1	1
9	J18	肺炎、病原体不詳	117	1.8	63	54	74.9	11.0	3
10	K80	胆石症	115	1.7	57	58	70.7	15.1	0
11	C61	前立腺の悪性新生物	110	1.7	110	0	75.2	7.2	1
12	C20	直腸の悪性新生物	108	1.6	91	17	70.6	8.2	1
13	I20	狭心症	106	1.6	71	35	75.3	2.9	0
14	N20	腎結石及び尿管結石	96	1.5	60	36	58.7	6.2	0
15	K57	腸の憩室性疾患	87	1.3	48	39	69.7	9.4	0
16	H81	前庭機能障害	82	1.2	25	57	70.0	3.3	0
17	I48	心房細動及び粗動	77	1.2	55	22	71.6	4.8	0
18	I61	脳内出血	72	1.1	42	30	71.1	38.3	8
19	N39	尿路系のその他の障害	72	1.1	27	45	81.3	11.0	0
20	L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	67	1.0	39	28	73.9	13.8	0
21	S06	頭蓋内損傷	65	1.0	44	21	77.2	19.3	4
22	N13	閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	60	0.9	42	18	67.9	3.2	1
23	C50	乳房の悪性新生物	57	0.9	1	56	68.5	7.6	1
24	C16	胃の悪性新生物	55	0.8	43	12	78.4	14.6	7
25	I70	アテローム<じゅく粥>状硬化(症)	55	0.8	31	24	79.0	6.7	0
26	E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	54	0.8	38	16	69.6	16.4	0
27	Z00	愁訴がない又は診断名の記載がない者の一般検査及び診査	54	0.8	46	8	59.5	1.0	0
28	C25	脾の悪性新生物	52	0.8	35	17	77.9	16.4	12
29	N40	前立腺肥大(症)	52	0.8	52	0	77.6	7.5	0
30	C67	膀胱の悪性新生物	51	0.8	44	7	72.7	9.9	2

《悪性新生物 上位20疾患 退院患者数(令和6年度)》

順位	ICD-10	疾患名(ICD-10中分類に準ずる)	患者数(人)				平均年齢(歳)	平均在院日数(日)	死亡退院(人)
			総計	比率(%)	男	女			
1	C34	気管支及び肺の悪性新生物	213	21.9	139	74	75.1	14.3	20
2	C18	結腸の悪性新生物	122	12.6	79	43	77.0	11.1	1
3	C61	前立腺の悪性新生物	110	11.3	110	0	75.2	7.2	1
4	C20	直腸の悪性新生物	108	11.1	91	17	70.6	8.2	1
5	C50	乳房の悪性新生物	57	5.9	1	56	68.5	7.6	1
6	C16	胃の悪性新生物	55	5.7	43	12	78.4	14.6	7
7	C25	脾の悪性新生物	52	5.4	35	17	77.9	16.4	12
8	C67	膀胱の悪性新生物	51	5.3	44	7	72.7	9.9	2
9	C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物	31	3.2	23	8	75.5	14.8	6
10	C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	23	2.4	10	13	73.0	8.3	0
11	C19	直腸S状結腸移行部の悪性新生物	20	2.1	11	9	75.2	16.8	0
12	C79	その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物	19	2.0	15	4	68.9	31.0	0
13	C44	皮膚のその他の悪性新生物	18	1.9	8	10	82.2	5.7	0
14	C24	その他及び部位不明の胆道の悪性新生物	10	1.0	6	4	82.2	12.9	0
15	C15	食道の悪性新生物	9	0.9	8	1	70.2	21.4	1
16	C65	腎盂の悪性新生物	8	0.8	6	2	73.9	12.9	0
17	C23	胆のう<囊>の悪性新生物	7	0.7	3	4	68.4	25.7	0
18	C64	腎盂を除く腎の悪性新生物	7	0.7	6	1	72.0	9.9	0
19	C13	下咽頭の悪性新生物	6	0.6	6	0	81.0	11.3	0
20	C17	小腸の悪性新生物	5	0.5	2	3	74.4	20.4	0

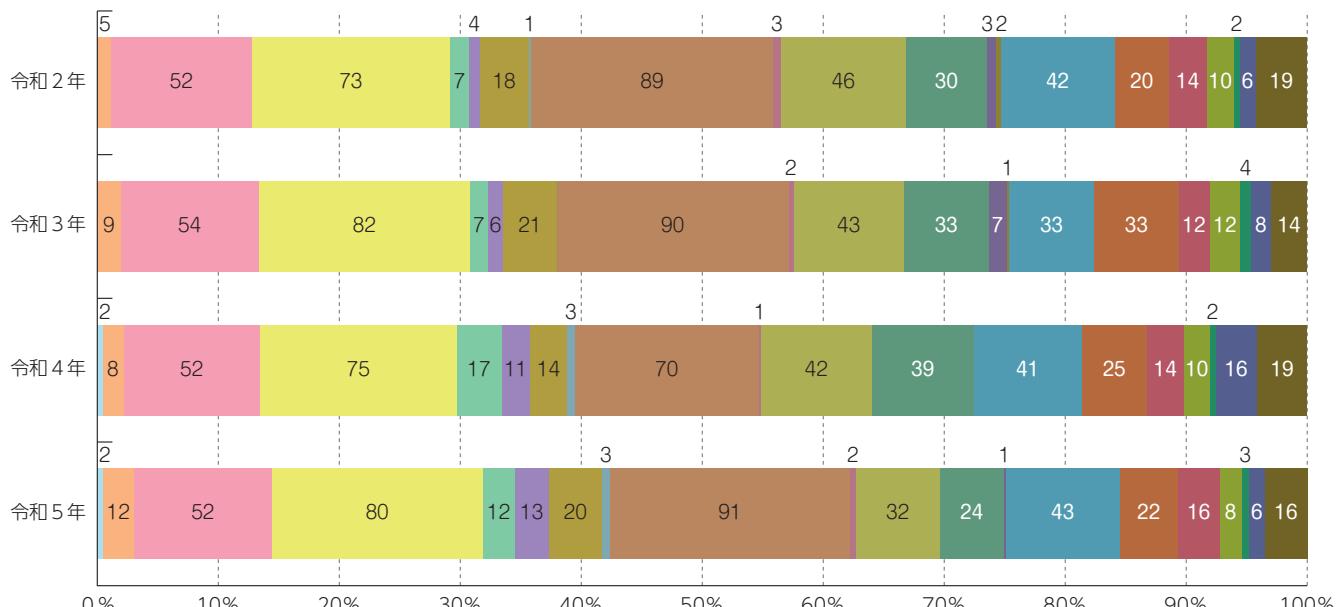
03 院内がん登録

《令和5年度 症例 部位別・治療法別 件数》

(UICC8版、自施設診断／自施設初回治療開始または継続、他施設診断／自施設初回治療開始または継続の症例のみ)

原発部位	鼻腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆嚢・胆管	脾臓	喉頭	肺	骨・軟部組織	皮膚(黒色腫含む)	乳腺	子宮	前立腺	膀胱	腎・他の尿路	脳・中枢神経系	甲状腺	血液・リンパ腫	その他	合計
	腔	道	腸	臟	管	臟	頭			腺	腺	宮	腺	胱	路	腺	腺	他	計		
手術のみ	1	0	7	27	2	5	2	0	26	2	32	3	1	2	0	8	1	2	2	8	131
内視鏡のみ	0	5	24	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	53
手術+内視鏡	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
放射線のみ	0	3	0	0	0	0	0	1	11	0	0	6	0	5	0	0	0	0	0	0	26
薬物療法のみ	0	1	5	7	2	2	5	0	14	0	0	0	0	19	0	0	0	0	2	0	57
放射線+薬物療法	0	0	0	1	1	0	1	0	7	0	0	2	0	14	0	0	0	0	0	0	26
薬物療法+その他	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
手術/内視鏡+放射線	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
手術/内視鏡+薬物療法	0	0	0	11	0	0	6	0	6	0	0	6	0	1	9	1	0	0	0	1	41
手術/内視鏡+その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
手術/内視鏡+放射線+薬物療法	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	10
他の組み合わせ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	5
治療なし	1	3	15	11	4	6	6	1	27	0	0	0	0	2	1	7	7	1	2	7	101
合計	2	12	52	80	12	13	20	3	91	2	32	24	1	43	22	16	8	3	6	16	458

《院内がん登録 部位別件数の推移》



■ 鼻腔・咽頭 ■ 食道 ■ 胃 ■ 大腸 ■ 肝臓 ■ 胆嚢・胆管 ■ 脾臓 ■ 喉頭 ■ 肺 ■ 骨・軟部組織 ■ 皮膚(黒色腫含む) ■ 乳腺
 ■ 前立腺 ■ 膀胱 ■ 腎・他の尿路 ■ 脳・中枢神経系 ■ 甲状腺 ■ 血液・リンパ腫 ■ その他
 ■ 宮子 ■ 卵巣 ■ 子宮 ■ 脳・中枢神経系 ■ 甲状腺 ■ 血液・リンパ腫 ■ その他

04 高度医療

《科別診療科別単価》

	入院単価			外来単価		
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
内 科	54,075	49,948	49,647	17,962	18,578	17,046
(一般内科)	129,330	121,192	108,926	31,810	29,060	23,594
(腎代謝内科)	52,408	50,190	48,521	19,103	18,166	14,929
(消化器内科)	52,816	50,461	49,208	12,679	13,413	12,565
(呼吸器内科)	54,593	48,596	47,191	27,715	30,011	26,931
(血液内科)	0	0	0	10,936	17,426	12,904
(糖尿病内分泌内科)	47,559	43,350	45,109	17,726	18,352	18,349
(救急科)	58,893	115,798	68,093	34,421	31,064	37,979
(総合診療科)	41,765	34,385	41,654	20,094	10,438	10,063
精 神 科	0	0	0	4,669	4,529	4,093
脳神経内科	45,076	44,872	45,975	11,041	11,356	13,994
循環器科	88,177	82,730	73,890	9,078	7,679	8,042
小 児 科	0	0	0	7,100	5,186	4,296
外 科	93,386	84,907	82,079	19,741	20,645	22,165
(一般外科)	92,945	81,581	81,434	18,015	17,095	18,065
(呼吸器外科)	108,414	95,332	85,256	14,513	13,162	14,336
(乳腺外科)	64,542	84,021	77,225	27,766	35,226	36,408
整形外科	52,682	50,844	47,697	8,040	7,510	6,544
形成外科	72,066	128,769	106,601	8,898	9,164	9,500
脳神経外科	62,550	71,168	63,641	12,391	13,430	13,387
皮 膚 科	46,732	47,132	45,694	7,246	7,934	7,027
泌尿器科	59,622	60,074	66,314	10,548	11,008	11,184
産婦人科	129,215	148,373	0	8,147	7,947	3,217
眼 科	140,332	150,965	0	13,929	16,558	22,141
耳鼻咽喉科	81,518	69,642	72,141	7,540	7,096	7,000
リハビリテーション科	0	0	0	5,523	5,730	6,767
脳神経移植科	94,738	200,179	164,379	13,685	15,033	19,736
放射線診断科	0	0	0	39,785	32,084	31,247
放射線治療科	0	0	0	29,202	27,688	27,726
麻 酔 科	0	0	0	2,467	2,829	4,006
健 診 科	93,686	94,421	104,368	51,823	51,118	52,916
計	62,468	61,425	60,997	12,182	12,336	12,409

《手術件数(月平均)》

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
腎代謝内科	14.3	9.0	0.4
消化器内科	78.0	81.8	82.5
呼吸器内科	0.0	0.1	0.0
糖尿病内分泌内科	0.0	0.0	0.0
救急科	0.1	0.2	0.1
総合診療科	0.1	0.0	0.0
脳神経内科	1.3	4.2	1.7
循環器科	34.5	25.8	25.9
外科	26.5	26.3	26.8
呼吸器外科	6.0	6.4	7.7
乳腺外科	5.8	4.2	8.7
整形外科	97.3	60.6	11.3
形成外科	20.4	20.3	21.7
脳神経外科	31.3	30.3	28.8
皮膚科	68.5	54.7	55.3
泌尿器科	26.3	23.8	30.3
産婦人科	5.8	4.9	0.0
眼科	65.8	63.7	20.9
耳鼻咽喉科	40.3	37.3	37.3
脳神経移植科	0.0	0.1	0.1
放射線診断科	8.3	6.5	6.3
計	530.4	460.1	365.5

《外来化学療法件数》

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
消化器内科	291	303	244
呼吸器内科	143	153	126
外科	130	166	148
乳腺外科	122	112	111
皮膚科	20	18	3
泌尿器科	27	23	19
計	733	775	651

05 救急搬送

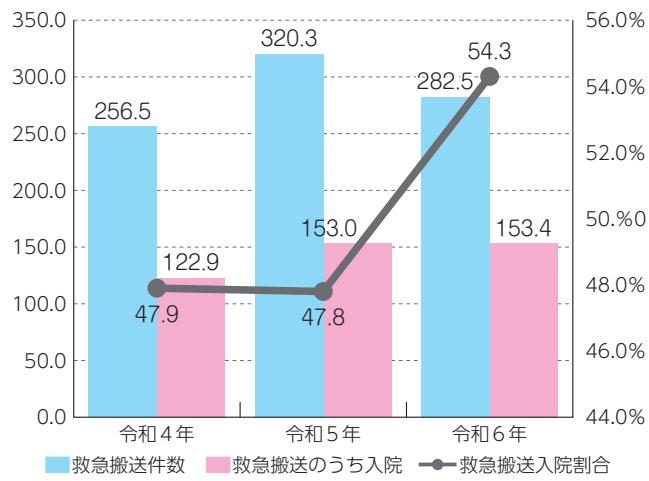
《救急車で搬送された患者・救急車で搬送され入院となった患者割合(1ヶ月平均)》

	①救急搬送件数	②①のうち入院	③救急搬送入院割合(②/①)
令和4年度	256.5	122.9	47.9%
令和5年度	320.3	153.0	47.8%
令和6年度	282.5	153.4	54.3%

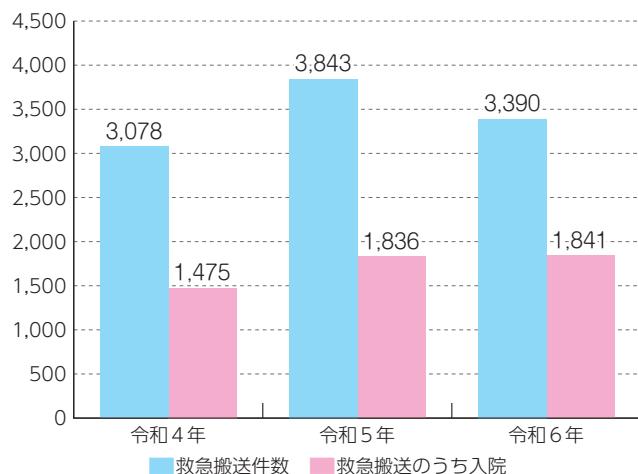
《診療科別救急患者数》

	令和6年度
内 科	3,313
腎代謝内科	5
消化器内科	164
呼吸器内科	61
糖内内科	3
救 急 科	321
総合診療科	1
脳神経内科	507
循環器科	135
外 科	191
呼吸器外科	39
乳腺外科	2
整形外科	262
形成外科	56
脳神経外科	1,213
眼 科	2
皮 膚 科	276
泌尿器科	140
耳鼻咽喉科	105
脳神経移植科	3
計	6,799

《救急搬送件数・救急搬送入院割合(1ヶ月平均)》



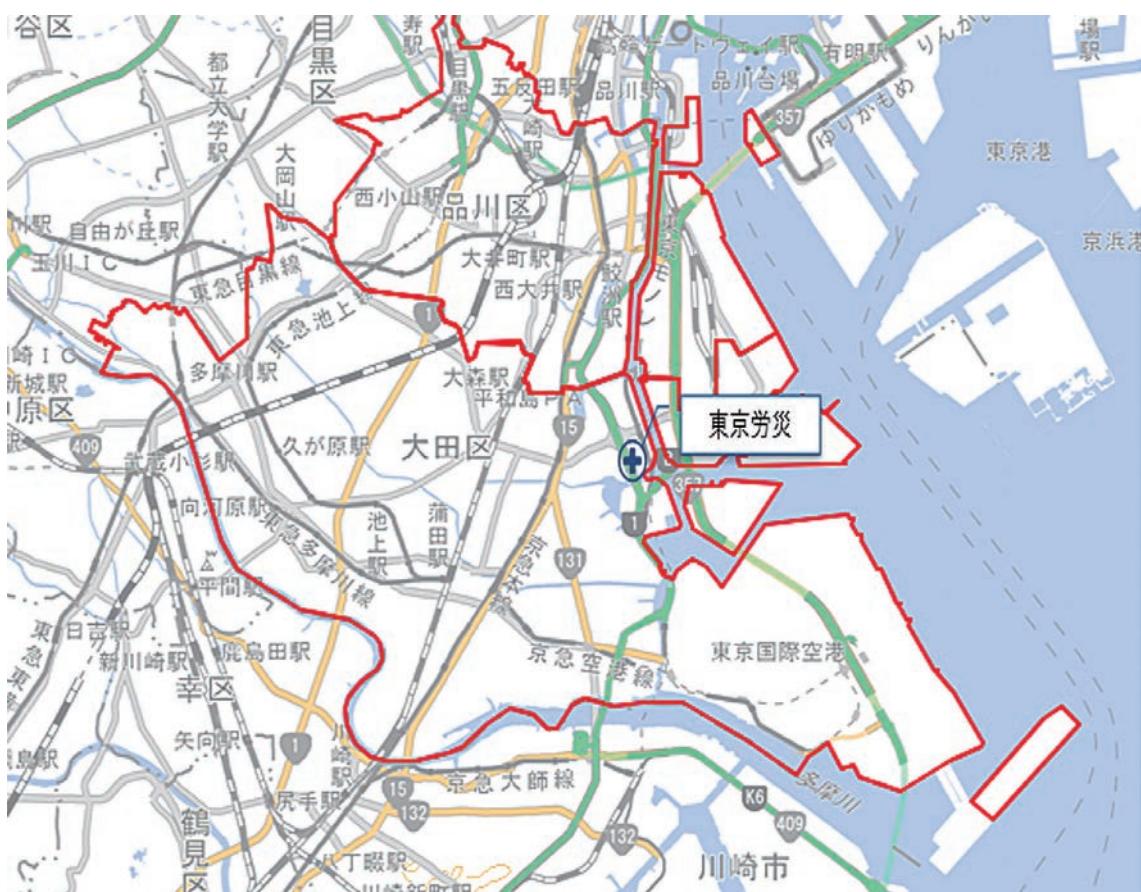
《【参考】救急搬送件数・救急搬送入院(年度総数)》



06 地域医療

《令和6年度患者数》

		入院患者		労災患者(再掲)		外来患者		労災患者(再掲)	
		延 数	構成比	延 数	構成比	延 数	構成比	延 数	構成比
東京都	大田区	80,863	0.87	128	0.24	154,285	0.90	636	0.46
	品川区	2,952	0.03	9	0.02	4,206	0.02	58	0.04
	その他	2,074	0.02	21	0.04	4,019	0.02	162	0.12
神奈川県		4,167	0.05	357	0.66	5,973	0.03	451	0.32
千葉県		818	0.01	6	0.01	1,123	0.01	35	0.03
埼玉県		494	0.01	4	0.01	907	0.01	23	0.02
その他		1,051	0.01	17	0.03	1,683	0.01	29	0.02
合 計		92,419	1.00	542	1.00	172,196	1.00	1,394	1.00



07 令和6年度CPC開催状況

場 所：東京労災病院大会議室

時 間：17時～18時

開催回数：2回

※大森医師会、蒲田医師会へ開催通知を発信

開催日	検討症例	診療科	プレゼンター
4月10日(水)	「急速な転帰を迎った多発転移を来たした後腹膜腫瘍の1例」	消化器内科	池上 遼
10月9日(水)	「アルコール性肝障害の治療中に消化管出血をきたして亡くなった1例」	消化器内科	中島 一彰

III. 年間行事

Japan Organization of Occupational Health and Safety
TOKYO ROSAI HOSPITAL
MEDICAL INFORMATION
2024

2024年1月～12月年間行事

日付	行事
1月4日	年始挨拶
1月11日	大森南図書館出張講座「薬の飲み合わせ」(鈴木美和 主任薬剤師)
1月12日～17日	能登半島地震の東京労災病院DMAT派遣
2月8日	大森南図書館出張講座「血圧を下げる薬の話」(井上優子 主任薬剤師)
3月9日	大田区合同災害訓練
3月8日	大森南図書館出張講座「糖尿病ってどんな病気？」(岩塚晶子 糖尿病看護認定看護師)
3月15日	初期臨床研修医研究発表会
4月1日	新規採用者オリエンテーション
4月26日	大森南図書館出張講座「血液検査でわかること～検査データの見方～」(熊本桃佳 臨床検査技師)
5月13日	看護週間：生花設置・「心に残った看護エピソード・家族の絵」掲示
5月16日	ベルリン視察団来院
5月17日	大森南図書館出張講座「体にやさしい漢方」(青柳晴彦 主任薬剤師)
5月21日	大田区長表敬訪問
6月7日	ホスピタルアート掲示
6月11日	区民公開講座「血圧のおはなし～なぜ血圧が高いといけないのか～」(吉玉副院長)
6月14日	大森南図書館出張講座「放射線治療～切らずに治すがん治療の特徴～」(大西莞太 診療放射線技師)
7月1日	永年勤続表彰式
7月1日	七夕飾り
7月10日	大森南図書館出張講座「毎日の運動で転倒予防」(中里成亮 理学療法士)
7月29日	第1回臨床研修医採用試験
7月30日	医療連携懇話会(プラザ・アペア蒲田)
8月26日	第2回臨床研修医採用試験
9月11日	地域力推進会議出張講演会(大森東特別出張所)「自宅で出来る体操」(中央リハビリテーション部 理学療法士 遠山敬輔、大塚珠代)
9月27日	大森南図書館出張講座「今どきの抗がん剤」(奥田和貴 主任薬剤師)
9月28日	政府総合災害訓練
10月18日	大森南図書館出張講座「認知症を知ろう～周りの人ができること～」(吉田絵美 認知症看護認定看護師)
10月20日	第11回いつつのわふれあい祭り
10月24日	羽田航空機事故消火救難訓練
10月27日	受変電設備点検
11月2日	OTAふれあいフェスタ2024
11月14日	大森南図書館出張講座「食べて元気にフレイル予防」(大塚 綾 管理栄養士)
11月19日	区民公開講座「老人性難聴について～最近聞こえが悪くなっていますか？～」(高柳耳鼻咽喉科部長)
11月27日	大森南保育園避難訓練
11月30日	大田区合同大規模災害訓練
12月1日	AED体験会(BIG FUN 平和島)
12月20日	大森南図書館出張講座「知れば得する感染対策」(熊澤美紀子 感染管理看護師)職員清掃活動開始
12月23日	消防訓練

能登地震での東京労災病院DMAT活動について (R6.1.11~17)
【当院は東京都災害拠点病院に指定されております】



私たちが主に活動した石川県輪島市の孤立地区（町野町）の状況です。倒壊している家屋も多く、地震規模の大きさがわかる写真です。

避難所の状況です。トイレの水も十分ではなく、仮設トイレを使用しています。自衛隊が沢山の援助物資などを届けていました。

治療が必要な住民の方々を輪島市の大きな病院へ搬送しています。こちらも私たちDMAT隊の非常に重要な役目となっています。

朝過ぎに町の避難所を出て、病院到着が夕方遅くなってしまいます。（搬送途中の道が悪路のため）

2024年1月12日～17日
能登半島地震の
東京労災病院DMAT派遣

2024年3月9日
大田区合同災害訓練



2024年3月15日
初期臨床研修医研究発表会

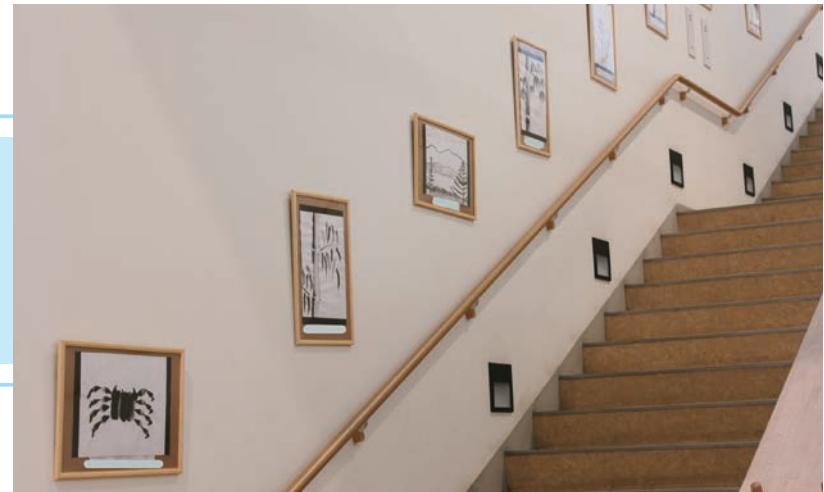


2024年4月1日
新規採用者オリエンテーション





2024年5月13日
看護週間



2024年6月7日
ホスピタルアート提示



2024年5月16日
ベルリン視察団来院



2024年6月11日
区民公開講座
「血圧のおはなし
～なぜ血圧が高いといけないのか～」



2024年7月1日
永年勤続表彰式

2024年7月1日
七夕飾り



2024年7月10日
大森南図書館出張講座
「毎日の運動で転倒予防」

2024年7月30日
医療連携懇話会





2024年9月11日
地域力推進会議出張講演会
(大森東特別出張所)
「自宅で出来る体操」

2024年9月27日
大森南図書館出張講座
「今どきの抗がん剤」



2024年9月28日
政府総合災害訓練

2024年10月20日
第11回
いつつのわふれあい祭り





2024年10月24日
羽田航空機事故消火救難訓練

2024年11月2日
OTAふれあいフェスタ2024



2024年11月14日
大森南図書館出張講座
「食べて元気にフレイル予防」

2024年11月19日
区民公開講座
「老人性難聴について
～最近聞こえが
悪くなっていますか？～」



2024年11月27日
大森南保育園避難訓練



2024年11月30日
大田区合同大規模災害訓練

2024年12月1日
AED体験会
(BIG FUN 平和島)



2024年12月20日
大森南図書館出張講座
「知れば得する感染対策」

2024年12月23日
消防訓練



東京労災病院年報2024 第24号

令和7年10月発行

編集発行人 森 田 明 夫

発 行 所 独立行政法人 労働者健康安全機構
東京労災病院
〒143-0013 東京都大田区大森南4-13-21
電話 03(3742)7301

印刷・製本 山王印刷株式会社
〒232-0071 神奈川県横浜市南区永田北2丁目17-8
電話 045(714)2021



Japan Organization of Occupational Health and Safety
TOKYO ROSAI HOSPITAL